



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和3年5月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更いたしました。

お1人様、月1回のみのお受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

日時	テーマ	講師	単位	定員
5月6日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 4月8日(木) 10時～定員に 達し次第受付終了	過労死等の労災認定事案を分析する～労災疾病臨床研究補助金事業の研究 成果から～ 厚生労働省では労災疾病研究を一層推進する観点から、研究課題の募集を行い、補助金を交付する事業を行っています。 それらの研究の中で、最近過労死等労災認定事案を、労働基準監督署の労災認定復命書をもとにデータベースを構築し分析した研究成果が発表されました。 その研究成果を労災認定事案の傾向などについて、現行の認定基準や具体的な認定事例なども交えて紹介したいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	24
5月11日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 4月6日(火) 10時～定員に 達し次第受付終了	働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説しま す～ ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・更新2	24
5月18日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 4月13日(火) 10時～定員に 達し次第受付終了	働く女性の健康管理 男女雇用機会均等法の施行から35年が経ち、女性のライフスタイルの変化から、女性労働者を取り巻く環境の変化について振り返りたいと思います。ライフコースに沿った女性の健康管理のポイントを整理し、育児休業法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法など女性の就労環境を改善する法律についても解説します。	小島原 典子	生涯・専門2	24
5月19日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 4月7日(水) 10時～定員に 達し次第受付終了	職場のメンタルヘルスにおける依存症 人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。	長尾 博司	生涯・専門2	24
5月24日(月) 13:30～16:30 申込受付日時 4月12日(月) 10時～定員に 達し次第受付終了	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	16

<p>5月25日(火)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 4月20日(火) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>職場の感染症対策～新型コロナウイルス対策を中心に～</p> <p>産業医の業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、現在流行中の新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。</p>	<p>濱田 篤郎</p>	<p>生涯・ 専門2</p>	<p>24</p>
<p>5月31日(月)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 4月19日(月) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>労災補償「制度と現状」</p> <p>労災補償制度は、業務上の負傷や疾病について、被災労働者や遺族に対して、治療に必要な給付や生活保障などを行うためのものです。 現代においては、脳・心臓疾患(いわゆる過労死)や精神障害、石綿や職業がん等、業務に起因する疾病が多く見られ、こうした疾病の原因を分析し、対策を講じていくことも重要になっています。 この研修では、労災保険給付の種類、業務災害と通勤災害、業務上疾病の内容、労災認定基準など労災補償制度について理解を深めていただこうと思っています。</p>	<p>野村 みどり</p>	<p>生涯・ 更新2</p>	<p>24</p>

◆保健師・看護師研修◆

※単位等の取得はできません。

●保健師・看護師研修の申込受付開始は、すべて**4月21日(水)10時～**です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
5月7日(金) 14:00～16:00	<p>【web研修会】レジリエンスについて</p> <p>仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義(14時～15時半)の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p> <p>◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆</p>	レジリエ研究所 所長/EAPコンサルティング普及協会 理事長 市川 佳居	単位なし	25
5月26日(水) 14:00～16:00	<p>【web研修会】実践的な職場復帰支援・コロナ下のメンタルヘルス不調の復帰事例～産業保健チームの連携を考えていきましょう～</p> <p>メンタルヘルス不調の職場復帰支援が浸透しつつ、今はコロナ下の現状、複合的なことも関与すると思います。がんと同じように長く付き合う、あるいは短期間のメンタルヘルス不調があり、病名が同じでも病状や経過に個人差があり、回復にも差が見られます。今回は、当事者の発症のきっかけを知る、働き方等のプロセスを知ることなどで、より一層の理解を深め、ラポール形成を大事に、伴奏支援事例をご紹介しますと思います。いまは、両立支援コーディネーターの研修が実施され、個と組織、そして病院と企業の橋渡しの存在としての役割、産業保健チームとしての支援体制と一緒に考えていきましょう。「治療と仕事の両立支援」の一環としても考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義(14時～15時半)の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p> <p>◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆</p>	菅野 由喜子	単位なし	25

日時	テーマ	講師	単位	定員
5月10日(月) 14:00～16:00	<p>メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のセルフケア～</p> <p>ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてセルフケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なセルフマネジメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	松井 知子	単位なし	12
5月12日(水) 14:00～16:00	<p>労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～</p> <p>労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、49年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	荒川 輝雄	単位なし	12
5月14日(金) 14:00～16:00	<p>職場で起こる熱中症の症状と処置 その予防対策について</p> <p>かつて、夏の暑さや炎天下で具合が悪くなる状態は、「日射病」と呼ばれていました。しかし現在では必ずしも日光が関わる状況でなくても発症する恐れがあることから「熱中症」と呼ばれています。熱中症は炎天下での作業や運動などで発症しやすいことが知られていますが、室内で業務中に発生したり、高齢者が寝ている時に発症することもあります。熱中症は早期発見・早期処置が大切です。どのような症状になるかを知り、その予防方法についても考えていきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	労働衛生専門職 高橋 稔晃	単位なし	12

<p>5月20日(木)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード& ツール④</p> <p>産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。「テレワークに対応したメンタルヘルス対策」、「健康経営優良法人認定制度」、「SNS相談」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>「こころの耳」 事務局長 石見 忠士</p>	<p>単位なし</p>	<p>12</p>
<p>5月21日(金)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>労働安全衛生管理基礎講座②</p> <p>「労働安全衛生法」の中で 労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本講座ではテキストに当センター発行「令和2年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回はその2回目です。1回目で、労働安全衛生法とは？その中には何が書かれているのか？など労働安全衛生法及び関係する諸規則等の全般について解説しましたが、今回は、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等 について解説します。 ・3回目は、心と身体 の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等 ・4回目は、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)を予定しています。 <p>本講座は令和2年度に実施した同名の講座と同様の内容となっていますが、令和2年に改正された法令等については改正後の法令に基づき解説します。なお、「令和2年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>中山 篤</p>	<p>単位なし</p>	<p>12</p>

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

●人事・労務・衛生管理者研修の申込受付開始は、すべて**4月21日(水)10時～**です。

日時	テーマ	講師	定員
5月7日(金) 14:00～16:00	<p>【web研修会】レジリエンスについて</p> <p>仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。</p> <p>EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義(14時～15時半)の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p> <p>◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆</p>	レジリエ研究所 所長 /EAPコンサルティング 普及協会 理事長 市川 佳居	25
5月26日(水) 14:00～16:00	<p>【web研修会】実践的な職場復帰支援・コロナ下のメンタルヘルス不調の復帰事例～産業保健チームの連携を考えていきましょう～</p> <p>メンタルヘルス不調の職場復帰支援が浸透しつつ、今はコロナ下の現状、複合的なことも関与すると思います。がんと同じように長く付き合う、あるいは短期間のメンタルヘルス不調があり、病名が同じでも病状や経過に個人差があり、回復にも差が見られます。</p> <p>今回は、当事者の発症のきっかけを知る、働き方等のプロセスを知ることなどで、より一層の理解を深め、ラポール形成を大事に、伴走支援事例をご紹介したいと思います。</p> <p>いまは、両立支援コーディネーターの研修が実施され、個と組織、そして病院と企業の橋渡しの存在としての役割、産業保健チームとしての支援体制を一緒に考えていきましょう。「治療と仕事の両立支援」の一環としても考えていきましょう。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義(14時～15時半)の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p> <p>◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆</p>	菅野 由喜子	25

日時	テーマ	講師	定員
5月10日(月) 14:00～16:00	<p>メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のセルフケア～</p> <p>ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてセルフケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なセルフマネジメントについて解説します。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	松井 知子	12
5月12日(水) 14:00～16:00	<p>労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～</p> <p>労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、49年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	荒川 輝雄	12
5月14日(金) 14:00～16:00	<p>職場で起こる熱中症の症状と処置 その予防対策について</p> <p>かつて、夏の暑さや炎天下で具合が悪くなる状態は、「日射病」と呼ばれていました。しかし現在では必ずしも日光が関わる状況でなくても発症する恐れがあることから「熱中症」と呼ばれています。熱中症は炎天下での作業や運動などで発症しやすいことが知られていますが、室内で業務中に発生したり、高齢者が寝ている時に発症することもあります。熱中症は早期発見・早期処置が大切です。どのような症状になるかを知り、その予防方法についても考えていきたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	労働衛生専門職 高橋 稔晃	12

<p>5月20日(木)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード& ツール④</p> <p>産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 「テレワークに対応したメンタルヘルス対策」、「健康経営優良法人認定制度」、「SNS相談」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。 また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>「こころの耳」事務局長 石見 忠士</p>	<p>12</p>
<p>5月21日(金)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>労働安全衛生管理基礎講座②</p> <p>「労働安全衛生法」の中で 労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本講座ではテキストに当センター発行「令和2年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。 ・今回はその2回目です。1回目で、労働安全衛生法とは？その中には何が書かれているのか？など労働安全衛生法及び関係する諸規則等の全般について解説しましたが、今回は、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等 について解説します。 ・3回目は、心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等 ・4回目は、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)を予定しています。 本講座は令和2年度に実施した同名の講座と同様の内容となっておりますが、令和2年に改正された法令等については改正後の法令に基づき解説します。 なお、「令和2年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>中山 篤</p>	<p>12</p>